

矢板たかはらマラソン大会結果報告

11月9日(日)、矢板運動公園陸上競技場で、第25回矢板たかはらマラソン大会が開催されました。今年は、北は岩手県、南は福岡県から1848人の方が参加し、日ごろの練習の成果を競いました。この大会は、高原山のすそ野を走るアップダウンのあるコースが人気ポイントの一つです。参加者にはゴール後に、市の特産品のリンゴが振る舞われました。インタビューをした入賞者は「運営の皆さんの暖かいおもてなしの心を感じた」「また来年も参加したい」と話していました。



市内入賞者／		〈敬称略〉		
クラス	順位	タイム	氏名	
ハーフ	高校生以上39歳以下男子	1	1:17:49	益子 樹
	40歳代男子	1	1:16:37	小山 強志
		5	1:23:08	加治佐博昭
10km	50歳代男子	1	0:37:25	湯田 真一
5 km	高校生以上39歳以下男子	3	0:16:05	山家 翔
		6	0:17:40	富本 将史
	40歳代女子	1	0:20:06	山家 良子
		2	0:20:28	三好 里実
		5	0:23:49	柳 風香
		6	0:25:03	千野根樹里
3 km	小学生男子(4～6年)	5	0:11:33	桑原 築希
	小学生女子(4～6年)	3	0:12:43	小野崎日南
		5	0:13:08	森 ひかり
		6	0:13:15	千野根愛理
	中学生女子	3	0:11:32	渡辺 未嶺
		4	0:11:38	森 映季
6		0:11:58	川村 伽耶	
2 km	小学生男子(1～3年)	2	0:08:00	渡邊 栄翔
		4	0:08:18	大澤 成那
	小学生女子(1～3年)	6	0:08:22	渡辺 魁
		4	0:09:21	齋藤こはる
		5	0:09:33	郡司 妃野

第6回秋祭りを楽しもう！ ～今年も大盛況にて終了しました！～

失われつつある伝統文化や伝承文化を、家族みんなで体験できる「秋祭りを楽しもう」が、11月3日(祝)、盛大に開催されました。

今年は、生涯学習館・矢板公民館・文化会館を会場に「矢板市文化祭」「福祉まつり」と合同開催。天気の良い秋空のもと、大勢の方が来場し、1日中、太鼓の音や子ども達の声が響き渡りました。



▲多くの方が集まった会場全景 ▲復興支援のさんまの塩焼きが大人気！
▲体験活動(ベーゴマ) ▲ちゅーりっぷ保育園わんぱく太鼓

健康ひろば活動報告

5月～10月にかけて開催した健康ひろばが、10月23日(木)の開催をもって今年度の予定をすべて終了しました。

5・6月にファミリーヨガ(入門編)、7月にソフトバレーボール、8月にラージボール卓球、9月にさいかつぼーる、10月にヨガ(初級編)と計5種目開催し、多くの方にご参加いただきました。

次年度も健康ひろばで、さまざまなスポーツを紹介していきます。予定については、広報やいたと市ホームページでお知らせします。皆様のご参加をお待ちしています。



▲さいかつぼーる ▲ファミリーヨガ

問い合わせ/市スポーツ推進委員会事務局(生涯学習課)
☎(43)6218

募集 第2回矢板市俳句いろはかるた大会

矢板市のご当地かるた「矢板市俳句いろはかるた」を使ったかるた大会を開催します。矢板の歴史や文化、自然などを、絵札を見て楽しみながら学習できますので、ご家族・ご友人などお気軽にご参加ください。

日時/平成27年1月18日(日) 9:30～12:00
場所/矢板武記念館 母屋
チーム編成/3人で1チーム
(年齢・性別・住所は問いません。ただし、小学生以下のみで構成するチームには、成人の代表者が付き添ってください)

募集チーム数/ 9チーム *先着順
参加費/ 1人100円(保険料等)
申込方法/ 1月7日(水)までに電話でお申し込みください。
申込・問い合わせ/生涯学習課 ☎(43)6218



募集 次回
▼種目/川柳 ▼期限/12月19日(金)必着
▼応募先/〒329-2165 矢板市矢板106番地2 生涯学習課
※作品の前に「種目」、作品の後に「氏名」をお書きください。

文芸 俳句

五味 しづ江 選

山粧ふ魚梯は白き音を立て
評 魚梯(ぎよてい)は遡上する魚の為に川の一部分が開かれている魚道の一つ。「白き音」で水の勢いがでている。
噴煙は氣息の如し山眠る
評 那須山の穏やかな噴煙が見える。このまま穏やかで居て欲しい。
つくつくし地蔵の温顔撫でにけり
評 上五は蟬、ここで切ると中七以下の作者の気持ちと行為がわかる
ひなびたる町に新茶の大織
評 風景を上手く捉えた。下五は「錦旗」で良い。
七五三桐の柱目と日和下駄
評 下駄で男の子と女の子とお孫さんの七五三を上手に表現した。
余生とて曲り角あり秋時雨
評 時雨はにわか雨みたいなのだから鬱の気分を少し入れて「余生にも曲り角あり秋微入(あきつりり)……秋入梅です。
日も風も通り抜け来る松手入れ
評 中七「抜け行く」で良い。
公園の池の辺や薄紅葉
評 「公園の池を囲めり草紅葉」公園の池を囲みて初紅葉」
新米と遺影の妻に語りかけ
評 「新米と遺影の妻に語りかけ」
休耕地そば花盛り蜂が舞う
評 そばの花は秋、蜂は春、と季節が重なってしまっているので例えば「休耕地波打つ如くそばの花」休耕地に波をたたせしそばの花」
月あかり鳴く虫の声牙ええと
評 虫の音に牙ええととして月あかり
青空に群れをなしての彼岸花
評 空青し群れて咲きたり彼岸花
歌詠むは心の癒せり敬老日
評 句を詠みて心癒せり敬老日
風鈴の音に微睡みぬ糸瓜棚
評 一番悩んだ句。景色が良いのだが季節重ねが強いのでどちらかにしたいがどちらか生かしたい。「風鈴に微睡む午後糸瓜棚」

彦坂 寿子
菊地 壽一
小野崎典子
関 八重子
吉澤 実
横塚 敏子
渡辺 博
笹館 紀子
豊田 芳男
岡本 セキ
渡辺 和子
大谷 章
谷中 ユキ
沼尾 博夫